

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(地域公共交通調査等事業)

令和7年2月28日
九州運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業(地域公共交通協働トライアル推進事業含む))

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考	
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果		
福津市地域交通体系協議会	<p>【事業内容】 ①現況等の把握・課題の整理 ②課題検証のための調査 ③地域公共交通計画(素案)の策定 ④協議会の開催</p> <p>【結果概要】 ①人口動向や乗降実績等により地域の現況を把握するほか、網形成計画の検証を行った。また、周辺自治体の状況や先進事例等を把握し、現況と掛け合わせ市の抱える課題の整理を行った。 ②既存アンケートの分析に加え、Webアンケート、意見交換会の実施により、市民の移動特性やニーズを調査した。また、交通事業者へのヒアリングにより、公共交通の維持に対する意向の確認やデマンド交通への転換の実現性等を調査した。 ③現況の把握、調査を受け、網形成計画の基本方針を踏襲しつつ、市の交通ネットワークの将来像・目標を定め、その実現に向けた具体的な施策、評価指標、評価方法を取りまとめ、計画の素案を策定した。 ④計画策定に向けて協議会を開催し、市の公共交通網の課題、将来像、施策等を議論し、共有した。</p> <p>今後、パブリックコメントを実施し、令和7年6月に計画を公表予定。</p>	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p>	<p>【補助対象事業名】 福津市地域公共交通計画作成業務</p> <p>【事業内容】 ①現況等の把握・課題の整理 ②課題検証のための調査 ③地域公共交通計画(素案)の策定 ④協議会の開催</p> <p>【交通将来像】 暮らしやすさを実感できる公共交通体系</p> <p>【基本方針】 ①市内各地域の課題やニーズに対応し、地域間格差の是正を促す公共交通サービスの充実 ②3つの拠点へのアクセシビリティ向上による市全体の活性化 ③観光資源との連携による交流人口の拡大 ④公共交通機関相互の連携による公共交通体系の機能強化 ⑤多様な主体の連携による持続可能な体制や仕組みの良好な維持</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された福津市の公共交通における現況・課題を踏まえ、市の活性化につながる公共交通体系の形成を可能とする計画が策定されることを期待します。 また、計画策定後においては、計画に基づく各種事業に関して、関係者間の協議を通じ、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	
うきは市地域公共交通活性化協議会	<p>○地域内の公共交通に関する現況調査 (内容) 上位・関連計画における公共交通の位置づけ、関連性等の整理、地域状況、市内における公共交通の状況等を把握するとともに、交通事業者へのヒアリング調査を実施する。 (結果) 現状における市内の公共交通に関する問題点や課題を抽出し、今後の地域公共交通ネットワークの維持・充実にに向けた要件を整理した。</p> <p>○地域住民のニーズ把握 (内容) 前年度に実施した調査結果等を基に、公共交通に関する市民や利用者のニーズを整理する。必要に応じ、追加調査を実施する。 (結果) 前年度の調査結果を整理するとともに、追加調査として、各地区の代表である地区自治協議会へのアンケート調査や事業者からの聞き取り、市内県立浮羽羽真館高校生へのアンケートを実施し通学や公共交通の利用状況を把握した。また、西鉄バス神杉野線の廃止による代替交通の実施に向けて、住民への説明会を開催しバス停の位置の確認や利用状況等の意見を聴取した。</p> <p>○うきは市地域公共交通計画(案)のとりまとめ (内容) 前述の「地域内の公共交通に関する現況調査」、「地域住民のニーズ把握」の結果にもとづき、今後の公共交通のあり方や高齢者をはじめとする交通弱者の対応のあり方等を検討し、うきは市地域公共交通計画案を策定する。 (結果) 本市における公共交通の現状や課題を踏まえ、持続可能で利便性や効率性の高い公共交通網の維持・確保に向けた取り組みを実現するための計画(案)をとりまとめた。</p> <p>○地域公共交通活性化協議会の開催 (内容) 計画策定に向けた調査内容、今後の交通体系のあり方について議論するための公共交通活性化協議会を開催する。 (結果) 計画策定に向けた調査内容、調査結果等を受け、今後の交通体系のあり方について、対面により議論をおこなった。</p>	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p>	<p>【補助申請を行う補助対象事業名】 令和6年度うきは市地域公共交通計画策定業務</p> <p>【事業内容】 ・地域内の公共交通に関する現況調査 ・地域住民のニーズ把握 ・うきは市地域公共交通計画(案)のとりまとめ ・うきは市地域公共交通活性化協議会開催</p> <p>【実施時期】 令和6年度末策定予定</p> <p>【調査結果を受けた計画策定の方針】 (将来像) 活気に溢れ豊かで快適に暮らせるうきは市を目指し、地域が共創する公共交通を目指す (基本方針) ・市民の暮らしに合った利便性の高い公共交通 ・市民の利用意識が高い公共交通 ・地域の関係者が協働する持続可能な公共交通</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理されたうきは市における計画の策定方針を踏まえ、地域の理解を得ながら、今後の公共交通ネットワークの維持・充実が図られる計画が策定されることを期待します。 また、計画策定後においては、計画に基づく各種事業に関して、関係者間の協議を通じ、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考	
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
小竹町地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <p>(1)地域内の公共交通に関する現況調査 (2)住民等意向調査 (3)小竹町地域公共交通計画(案)のとりまとめ (4)地域公共交通会議開催</p> <p>【結果概要】</p> <p>(1)地域特性、既存公共交通の現況、上位・関連計画におけるまちづくりの方向性を整理した。 (2)町民アンケート調査(16歳以上の町民を対象、2,000人無作為抽出)、交通事業者へのヒアリングを実施し、利用意向や将来の方向性について把握した。 (3)各種調査を踏まえ、課題や問題点を整理し、令和7年8月頃に計画素案を作成予定。 (4)計画策定に向け、現状把握や調査内容について議論するため交通会議を開催した。</p>	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>【補助対象事業名】 小竹町地域公共交通計画策定業務</p> <p>【事業内容】 (1)地域内の公共交通に関する現況調査 (2)住民等意向調査 (3)小竹町地域公共交通計画(案)のとりまとめ (4)地域公共交通会議開催</p> <p>【実施時期】 令和7年12月策定予定</p> <p>【基本方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利便性と効率性が確保された確保された町内交通ネットワークの構築 ・公共交通と連携したまちの賑わいづくりの創出 ・公共交通の持続可能性の向上に向けた取組の推進 	<p>今回実施された調査事業は概ね適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された小竹町における公共交通の現状や上位・関連計画におけるまちづくりの方向性を踏まえ、利便性や効率性が確保され、かつ持続可能である公共交通ネットワークの構築に資する計画が策定されることを期待します。 また、計画策定後においては、計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	
上峰町地域公共交通活性化協議会	<p>事業内容: 地域公共交通の利用状況、ニーズ調査及び現状把握の結果をもとに、持続可能な公共交通ネットワーク等の形成にあたっての問題点や課題を整理し、地域にとって望ましい公共交通ネットワークの基本方針等を具体的に反映させた地域公共交通計画を策定する。</p> <p>結果概要: 利用者減少が著しいコミュニティバス(巡回バス)と路線バスの接続を改善し、利用しやすい路線、バス停留所の整備をする必要がある。また、乗合タクシーについては、町民のニーズに合った運行に変更することで利便性の向上につながると考えられる。</p>	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された</p>	<p>補助対象事業名: 地域公共交通調査事業(地域公共交通計画策定事業)</p> <p>事業内容: 上峰町地域公共交通計画の策定</p> <p>実施時期: 令和6年4月～令和7年3月</p> <p>調査結果を受けた計画策定の方針: 巡回バスの路線、ダイヤ、バス停留所を改善し、路線バスと接続しやすい環境を構築する。また、乗合タクシーの施設間利用、運行便数、料金設定等を改善することで利便性向上及び利用促進を図る。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 前年度の住民アンケート調査を踏まえ、今回の調査で上峰町における公共交通の現状や課題を整理し、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 また、計画策定後においては、調査によってその改善点が浮かび上がった循環バスや乗合タクシーの利便性向上及び利用促進が図られることを期待します。</p>	
鳥栖市地域公共交通会議	<p>【事業内容】</p> <p>(1)公共交通、移動実態、公共交通以外の輸送資源等の現状調査 (2)課題整理 (3)地域公共交通計画(案)のとりまとめ (4)協議会の開催</p> <p>【結果概要】</p> <p>(1)市民アンケート調査、高校生アンケート調査、路線バス市内線・ミニバス乗降調査、交通事業者等ヒアリング、まちづくり推進協議会意見交換会、乗降客数データ分析等を行い、現状調査を行った。 (2)①の結果等を基き地域公共交通を取り巻く課題を整理した。 (3)①・②の結果等に基づき計画案をとりまとめた。 (4)4月(書面決議)、6月、11月、12月の計4回開催し、計画策定等の協議を行った。今後は3月に1回実施予定。</p>	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている</p>	<p>令和7年1月～2月にかけてパブリック・コメントを実施したのち、3月開催予定の会議を経て、鳥栖市地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された鳥栖市における公共交通の現状と課題を踏まえ、他部局の施策等との整合を図りつつ、まちづくり等と一体となった施策が着実に実施されることを期待します。 また、計画策定後においては、計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、評価、見直しが行われることを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
武雄市地域公共交通会議	<p>(1)ニーズ等に関する調査 市内在住者及び来訪者を対象とした公共交通に関するアンケート調査を実施。</p> <p>(2)住民意識調査 民生委員児童委員、地域包括ケアシステムの生活支援コーディネーターを対象としたアンケートを実施。また、人材育成事業としてワークショップを開催し、地域交通の課題等について意見交換を実施。</p> <p>(3)武雄市地域公共交通計画(案)のとりまとめ 各種調査やワークショップの意見を分析し課題を抽出。本市における公共交通の現状や課題を整理の上、基本方針や施策展開の方向性を検討し、武雄市地域公共交通計画(案)を作成。今後、地域公共交通会議にて協議し、計画の策定を行う。</p> <p>(4)協議会の開催 R6.7.22地域公共交通会議を開催し、武雄市地域公共交通計画策定について報告。R7.2.26に開催予定の地域公共交通会議において、武雄市地域公共交通計画の概要を提案予定。また、R7.3下旬に開催予定の地域公共交通会議において武雄市地域公共交通計画案を提案する予定。</p>	A	<p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p> <p>・既存の公共交通機関だけでなく、多様なサービスや地域の輸送資源を活用することにより、効果的かつ持続性の高い公共交通の構築を目指す。 ・「西九州のハブ都市」として周辺市町や市内の交流・回遊を支える公共交通を目指す。 ・福祉や観光などの様々な分野と連携し、まちづくりなども連携した公共交通を目指す。</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された武雄市における公共交通の現状や課題を踏まえ、福祉や観光などの分野とも連携のうえ、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 また、計画策定後においては、周辺市町も含めた広域での連携も視野に入れながら、効果的かつ持続性の高い公共交通が構築されることを期待します。</p>	
長崎市公共交通活性化協議会	<p>【現計画を踏まえた公共交通の現状、関連計画の整理】 ・公共交通の現状整理や、関連計画との整理を実施した。</p> <p>【市民アンケート調査】 ・計画策定前後に着目した公共交通の利用状況や市民が求めているニーズ等を把握整理することができた。</p> <p>【現計画に対する評価、課題の整理】 ・前項で整理した内容をもとに、現計画に対する評価、課題の整理を実施することができた。</p>	A	<p>計画通り事業は適切に実施された</p> <p>補助対象事業：長崎市地域公共交通計画改定事業 事業内容：公共交通の現状、関連計画の整理 市民アンケート調査 現計画に対する評価、課題の整理 実施時期：令和6年9月～令和7年3月</p>	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された長崎市における公共交通の現状等を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 また、計画策定後においては、計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考	
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
平戸市愛のり交通活性化委員会	平成30年度に策定した交通網形成計画のフォローアップや今回実施した市民・高校生へのアンケート調査、民生委員の聞き取り調査、乗込み調査、交通結節点調査などから最新の住民ニーズを把握し再確認するとともに、交通事業者ヒアリングや宿泊飲食事業者ヒアリングより人員不足等の経営課題の把握を行った。利便性・効率性・持続可能性に対する問題点を整理し、本市の上位計画や関連計画から求められる公共交通の役割・位置付けを踏まえて計画目標を設定した。	A	当初の計画に沿って、計画策定を実施できた。地域交通法に適した計画の策定を行ったことから、事業は適切に実施された。	公共交通のあり方や本市における課題・問題点を踏まえ下記の政策目標を設定した。 ①地域公共交通の最適化 ②小さい需要でも運営可能な移動サービスの提供 ③公共交通の担い手確保への取組 ④地域と連携した賑わいづくり及び効果的な情報発信 ⑤観光客向けの交通モードの提供及びわかりやすい情報提供 令和7年度～11年度の5年間に渡って上記政策の実現を図る。	今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された平戸市における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 また、計画策定後においては、計画に基づき、持続可能で地域外からの来訪者にも利用しやすい地域公共交通の確保に向けた取組が行われることを期待します。 全体の会議等が頻度高く開催されていることは評価できるため、継続して開催されることを期待します。	
波佐見町地域公共交通活性化協議会	波佐見町地域公共交通計画の策定に向け、住民アンケート調査及び予約制乗合タクシー利用者アンケート調査を実施し地域の現状把握を行った。 また、定期的に協議会を開催し、意見の集約並びに計画への反映作業を行った。	A	計画に基づき適切に実施された。	補助申請を行う補助対象事業名：波佐見町地域公共交通活性化協議会 事業内容：地域公共交通計画の策定 実施時期：令和6年度 調査結果を受けた計画策定の方針： ①幹線ネットワークの明確化と再編 ②波佐見－川棚線（代替路線）の確保 ③支線ネットワークの再編 ④町の中心部でのモビリティハブの形成 ⑤公共交通利用を促進するための取組推進 ⑥公共交通運行体制の拡充 ⑦交通資源の総動員を図るための体制構築	今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された波佐見町における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 計画策定後は、幹線ネットワーク等の再編や町中心部でのモビリティハブの形成、公共交通の利用促進に係る取組の推進により、利便性が高い地域公共交通が構築されることを期待します。	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考	
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
宇城市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状把握に関する調査 ・現状分析と課題整理 ・地域公共交通計画(案)の作成 ・協議会開催 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位計画や関連計画の整理、人口等の基礎データの整理を行った。 ・公共交通利用者数や財政負担状況等、公共交通に関するデータの整理を行った。 ・市民アンケートや利用者アンケート、交通事業者等へのヒアリングの結果を整理し、ニーズの把握や地域課題の整理を行った。協議会を3回開催し、①市の公共交通等の現状報告及び計画策定の方針等を共有。 ②計画素案を協議。③パブリックコメントを経て、宇城市地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。 	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された(される見込み)。</p>	<p>調査結果等を踏まえ、基本方針等を決定し、令和6年度中に計画を策定予定。</p> <p>【補助対象事業の名称】 宇城市地域公共交通計画策定調査業務</p> <p>【実施時期等】 令和6年8月30日～令和7年3月31日(完了予定)</p> <p>【基本理念】 多様な交通モードを連携し未来につなぐ</p> <p>【基本方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①公共交通のサービス水準の見直し ②持続可能な地域公共交通ネットワークの構築 ③交通結節機能の強化 ④地域公共交通の利用促進・意識の醸成 ⑤地域公共交通と他分野の連携 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今回の調査で整理された宇城市における住民ニーズや地域課題を踏まえ、地域の理解を得ながら関係者間で協働した効果的な取組が基本理念に基づき着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、計画に基づく各種事業に関して、定期的な協議会開催による適切な効果検証・見直しが行われることを期待します。</p>	
八代市地域公共交通会議	<p>本事業においては、本市の公共交通の現状や人口分布、市民の移動動態など現状を整理し、現行計画の総括・効果検証及び交通事業者へのヒアリング調査・市民アンケート調査を実施したうえで、本市における地域公共交通が抱える問題点を確認し、対応が必要な課題を整理した。</p> <p>また、本市における地域公共交通の役割・位置づけを明確にし、地域公共交通の将来像や、課題解決に向けた計画の目標、評価方法を検討した。</p> <p>上記を踏まえ、目標達成のために取り組むべき施策・事業の検討を行い、令和7年3月に第2次八代市地域公共交通計画(素案)を作成した。</p>	A	<p>当初の計画に沿って令和7年3月に計画素案を作成できたことから、事業は適切に実施されたと考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の基礎データ(人口特性や市民の移動動態等)の把握及び交通サービスの運行状況・利用状況の確認を行い、本市の公共交通を取り巻く現状を整理する。 ・現行計画の総括及び効果検証を行うとともに、交通事業者へのヒアリングや市民アンケート調査を実施したうえで、本市の公共交通に関する課題を整理する。 ・関連計画との整合を図りつつ、交通計画の基本方針を定め、課題解決に向けた目標・評価指標及び評価方法を検討するとともに、目標達成に向けた施策及び実施主体を検討する。 ・今年度作成した素案を基に、最終的に令和7年10月に第2次八代市地域公共交通計画を策定する。 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今回の調査で整理された八代市における公共交通の問題点や現行計画の効果検証を踏まえ、現行計画から更に発展した第2次計画が策定されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
東串良町地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域概況及び公共交通の現況整理 ・町の概況、公共交通の状況、人口流動、上位・関連計画等を整理。 ・移動実態や公共交通に対するニーズの把握 <p>住民の移動や公共交通の利用実態、現状のサービスに対する評価、今後の公共交通サービスに対する意向等を把握するための「住民アンケート」や、各地区の実情を熟知した民生委員を対象に、交通弱者を中心とした住民ニーズや移動に関する課題等を詳細に把握するための「民生委員アンケート」を実施。また、東串良町に居住し、町外へ通学する高校生の通学手段や公共交通の利用状況、保護者による送迎実態等を把握するための「高校生アンケート」も実施。</p> <p>さらに、交通事業者や商業施設等にヒアリング調査を実施し、今後の事業展開、各種分野との連携の可能性について模索した。</p> <p>【結果概要】</p> <p>調査の結果、本町公共交通の主な問題点等は以下6点。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①町内の移動手段が不十分 ②移動ニーズへの対応が不十分 ③公共交通利用者数の減少と財政負担の増加 ④公共交通サービスの担い手不足と高齢化 ⑤待合環境の改善が必要 ⑥目的地となる施設との連携が必要 <p>これを踏まえ、取り組むべき課題は主に以下4点。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①町内移動を担うデマンド交通の構築 ②幹線交通の利便性向上 ③公共交通の利用促進 ④持続可能な公共交通サービス提供のための支援 <p>計画の策定にあたっては、調査結果から整理した問題点や課題を踏まえて、計画の基本理念・基本方針、施策の目標等について協議会で議論を行い、東串良町にとって適正な交通体系、交通施策を盛り込んだ計画案を策定している。</p>	A	<p>・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施される見込み。</p> <p>・令和7年2月開催予定の協議会において、計画案を協議し、同月にパブリックコメントを実施し、令和7年3月開催予定の協議会において最終調整を行い、計画策定をする。</p>	<p>【補助対象事業名】</p> <p>東串良町地域公共交通計画策定調査業務</p> <p>【事業内容(実施時期)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画の準備(令和6年8月) ・地域概況及び公共交通の現況整理(令和6年8～12月) ・移動実態や公共交通に対するニーズの把握(令和6年8～12月) ・東串良町地域公共交通の問題点及び課題の整理(令和6年10～12月) ・東串良町地域公共交通計画(案)のとりまとめ(令和6年12月～令和7年2月予定) ・協議会の開催(令和6年12月開催、令和7年2月、3月開催予定) <p>【計画策定の方針】</p> <p>(基本理念)</p> <p>町民の暮らしを支え、活力あるまちづくりに向けた持続可能な公共交通</p> <p>(基本方針)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①町の現状と将来に対応した公共交通サービス 高年齢者・高校生といった、公共交通のメイン利用者のニーズ(出かけた時間や出かけた場所)に沿った町内移動サービスを提供する。また、幹線交通との乗り継ぎ拠点の待合環境を改善する。 ②さまざまな主体との共創(交通+X)による交通まちづくり 交通事業者や行政に加えて、幅広い町民や目的地となる拠点施設などと共創し、まちづくりと一体となった交通政策を推進する。 ③みんなで取り組む公共交通環境づくり 公共交通の利用促進や外出機会の創出、ドライバー確保の支援などにより、持続可能な公共交通を提供する。 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今回の調査で整理された東串良町内における公共交通の問題点及び取り組むべき課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、関係者間で協働した効果的な取組が基本理念に基づき着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、計画に基づく各種事業、特に多様な主体との共創による交通まちづくりに関して、効果的な取組が実施されることを期待します。</p>

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における二次評価結果	備考
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針又は事業の今後の改善点	評価結果	
徳之島地域公共交通活性化協議会	<p>1.主要施設や交通ネットワークの現状、利用状況等地域公共交通に関する実態調査 (内容) 現状調査、または利用実態の整理のため利用者へヒアリング調査を実施、路線の見直しや運行時刻設定の検討材料とする。 (結果) 統計資料等により調査済み、また「路線バス利用者」「交通結節点利用者」「地域コミュニティバス利用者」「デマンドバス利用者」へアンケート調査を行い実態が把握できた。</p> <p>2.交通事業者ヒアリング (内容) 交通事業者から見た地域公共交通の望ましいあり方や現在の運行における課題の調査、関係機関、自治体におけるニーズ等を把握する。 (結果) 「タクシー事業者ヒアリング」「医療施設アンケート」「各町関係各課ヒアリング」を行い現状や課題、改善要望・ニーズ等の把握ができた。</p> <p>3.地域公共交通計画(案)のとりまとめ (内容) 乗降調査や利用者アンケート、住民アンケート等の諸調査結果の分析を行い、徳之島に合った効率的かつ効果的で持続可能な公共交通体系の構築に向けた計画(案)の策定を行う。 (結果) 基本方針・目標また実施事業については、概ねまとまりつつあるが現在は素案の段階である。</p> <p>4.協議会の開催 (内容) 計画策定に向け協議会を開催し、計画内容について協議 (結果) 計画策定に向け協議会を4回開催した。(次回令和7年3月21日予定)</p>	A	地域公共交通計画策定支援業務委託事業は、計画どおり実施されている。	令和7年3月に徳之島地域公共交通計画を策定予定。	今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 今回の調査で整理された徳之島における公共交通の現状や課題を踏まえ、徳之島に合った効率的かつ効果的で持続可能な公共交通に向けた取組が実施されることを期待します。 また、計画策定後においては、計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。
奄美大島地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】 奄美大島5市町村(奄美市、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町)による広域での計画、5市町村それぞれ個別の計画を策定を目指し、以下の項目を実施。 ①公共交通の利用状況及びニーズ調査 ②利用特性及び地域の課題整理 ③公共交通の活性化の方針及び目標に関する設定 ④地域公共交通計画(案)の策定 ⑤地域公共交通活性化協議会の開催</p> <p>【結果概要】 ①路線バス乗降調査、乗降ヒアリング調査、住民アンケート、交通事業者ヒアリング調査を実施した。 ②調査結果を踏まえ、地域住民の移動傾向や公共交通の利用特性、また公共交通が抱える課題を整理した。 ③5市町村の総合計画等の上位・関連計画や、整理された地域の利用特性、課題等を踏まえ、地域交通のあり方を検討し、公共交通活性化の方針及び目標を設定した。 ④広域での地域公共交通計画に加え、対象となる5市町村それぞれの地域公共交通計画(案)を策定した。 ⑤広域の地域公共交通活性化協議会の開催、市町村ごとの協議会の開催支援を行った。</p>	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	<p>【補助対象事業名】 奄美大島5市町村広域による地域公共交通計画策定業務</p> <p>【事業内容】 ・公共交通の利用状況及びニーズ調査 ・利用特性及び地域の課題整理 ・公共交通の活性化の方針及び目標に関する設定 ・地域公共交通計画(案)の策定 ・地域公共交通活性化協議会の開催</p> <p>【実施時期】 令和6年6月18日～令和7年2月28日</p> <p>【計画策定の方針】 ・基本方針Ⅰ 広域連携による(便利)で持続可能な公共交通の構築 ・基本方針Ⅱ 5市町村の魅力が輝く公共交通施策の推進 ・基本方針Ⅲ 奄美大島の活性化につながる多様な主体の共創促進</p>	今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。 特に、生活圏を考慮し島全体での計画を5市町村にて策定した点と、別の島との事業者間連携について計画に位置づけた点は高く評価できます。 今回の調査で整理された奄美大島地域における公共交通の現状や課題を踏まえ、地域の理解を得ながら、基本方針に基づいた効果的な取組が着実に実施されることを期待します。 また、計画策定後においては、定期的な広域の協議会開催によるフォローアップが行われることを期待します。

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
		②事業 実施の 適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果		
肥薩おれんじ鉄道未来戦略検討委員会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○肥薩おれんじ鉄道沿線地域公共交通計画(仮称)(案)のとりまとめ ○パブリックコメントの実施 ※3月中～下旬を目途にパブリックコメントを実施 ○協議会開催 ・今後年度内に2回協議会を開催予定(2月, 3月) ○幹事会開催 これまで1回幹事会を開催(1月) ※今後, 2回開催予定(2月, 3月) 	A	<p>事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施される見込み。</p>	<p>【補助対象事業名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○肥薩おれんじ鉄道未来戦略検討事業 <p>【実施(地域公共交通計画策定)時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和6年度中 ※今後の議論の状況に応じて策定期間については、変動の可能性もありえる。 <p>【計画策定の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○法定協議会での議論や、パブリックコメントでの県民等からの意見を踏まえ、肥薩おれんじ鉄道沿線地域公共交通計画(仮称)を策定する。 	<p>今回実施された調査事業は適切に実施されているものと考えられます。</p> <p>今回の調査で整理された肥薩おれんじ鉄道沿線地域の問題点や課題を踏まえ、観光やまちづくり等との運動を図り、利用者の利便性を確保しつつ、肥薩おれんじ鉄道の特性を踏まえた取組が着実に実施されることを期待します。</p> <p>また、計画策定後においては、計画に基づく各種事業に関して、適切に実施、見直しが行われることを期待します。</p>	